非常用発電設備点検基準

1 6ヶ月点検作業内容

- (1) 自家発電室の管理状態，または設置場所周囲の状況を点検する。
 - ・浸水，漏水の有無
 - ・室内，または周囲の整理整頓状態及び清掃状態はどうか。
 - ・防火区画の破損の有無
 - ・排気筒の状況，周囲に可燃物がないか，または換気の状態はどうか。
 - ・照明は十分か，自家発電設備を明示する標示がわかりやすいか。
- (2) ディーゼル機関の外観状態を点検する。
 - ・機関から水漏れや油漏れはないか。
 - ・計器類の破損はないか。
 - ・オイルパン，噴射ポンプ，ガバナーの潤滑油の油量はどうか。
 - ・排気筒に破損や亀裂はないか，支持金具はゆるんでいないか。
 - ・燃料の量は十分か，燃料タンクやフィルターの水抜きを行う。
 - ・冷却水の量は十分か，冷却水系のエア抜きを行う。
 - ・燃料，冷却水の配管やバルブに異常はないか。
 - ・始動用蓄電池の電解液の量は十分か。また，充電装置の調整を行う。
 - ・エアフィルターの清掃を行う。
 - ・始動用圧縮空気の圧力は十分か，また，圧縮機の調整を行う。
 - ・各種ベルトの張りを調整する。
 - ・グロープラグを点検。
 - ・ボルト等の変形や損傷がないか点検する。
 - ・機関全体の清掃を行う。
- (3) 発電機及び制御盤の外観状態を点検する。
 - ・端子部や接続部の緩みがないか，増し締めをする。
 - ・軸受けに油漏れはないか。
 - ・計器類や操作把手に破損はないか。
 - ・ボルト等に変形や損傷がないか。
 - ・発電機，制御盤の内外清掃をする。
- (4) 自家発電設備の動作，機能を点検する。
 - ・無負荷，または可能であれば約50%の負荷をかけて約5～30分運転を行い動作，点検を行う。
 - ・自動の始動や停止及び手動は良好か。
 - ・始動時間，出力電圧の確立，出力周波数の確立は正常か。
 - ・過速度，過電圧，過電流の保護動作は正常か。
 - ・自動電圧調整器の調整範囲は正常か。
 - ・発電機の軸受けに異常音はないか。

- ・ 機関に異常な振動，音，排気色はないか。
 - ・ 各機器の指示は正常か。
 - ・ 機関の保護装置（油圧低下，水温上昇，オイルフィルターアラーム燃料油面低下，冷却水断水）の動作は正常か。
 - ・ 各種検出継電器の動作値は正常か。
 - ・ 表示灯，ヒューズ等に断線はないか。
 - ・ 電磁接触器，開閉器，補助継電器の接点われやコイルの断線などはないか。
 - ・ コンデンサーのふくらみ等に焼損等はないか。
 - ・ 整流器，トランス等に焼損等はないか。
- (5) 点検結果報告書，試験成績書の作成

2 1年点検作業内容

- (1) 前項の6ヶ月点検の内容をすべて実施する。
- (2) 実負荷をかけて，約30分運転し次の点検を行う。
 - ・ 総合動作試験
 - ・ 電圧変動率，速度変動率試験
 - ・ スリップリングの面荒れ点検
 - ・ ブラシすりあわせ圧力調整
 - ・ 絶縁抵抗の測定（500V，1000Vメガーによる）
 - ・ オイルパン，噴射ポンプ，ガバナーの潤滑油交換
 - ・ オイルフィルターエレメント，グローブプラグの交換
 - ・ ノズル噴射圧力調整またはノズル交換
 - ・ ウォーターポンプ，プーリーのグリスアップ
 - ・ バルブクレアランスの調整
 - ・ コンプレッションの測定
 - ・ セルモーター，ダイナモ，配線及びその結合部点検
- (3) 実負荷をかけて消防用設備が正常に作動するか確認する。
- (4) 1年点検結果報告書及び試験成績書の提出
（消防法第17条の3の3，及び同法施行規則第31条の6の規定による）